

平成31年 第7回

9月18日

(通算351回)

美濃路 VIII

垂井宿～大垣宿

歩数	21,000	累計	102,500
----	--------	----	---------

月/日 (曜)	行先 (方面)	コース	集合場所 及び時間
9/18 (水)	第361回 美濃路VIII 大垣宿 ～垂井宿	垂井駅 …… 垂井宿追分 …… 松並木 ……	垂井駅 9時20分
		… 綾戸の一里塚跡 …… 久里の一里塚 …… 塩田常夜燈 ……	
		… 船町港跡・住吉灯台 …… 本陣跡 …… 脇本陣跡 ……	
		… 大垣城東総門跡 …… 大垣駅	
		<・歩行距離 10.0km ・所要時間 5時間00分 ・交通費 1,730円>	
JR特快 大垣行	金山 — 名古屋 — 大垣(乗換) — 垂井	8:26 8:31 9:06/9:10 9:17	

2ヶ月休会のブランクと約10Kmの長いコースの影響か、参加者は8名とやや少なかったが、2014年に始めた美濃路シリーズの最終回(8回目)となる垂井宿～大垣宿の完歩を目指して、JR垂井駅を出発(9時20分)。歩き始めてすぐに中山道と美濃路の分岐点・垂井宿追分の道標があり、相川橋を渡り右手にとって美濃路に入る。今回も前回(中山道・河渡宿～加納宿)と同じく車道の脇を歩くタウンウォークであるが、当時の面影を残す松並木が見えてくると、昔を偲ぶ雰囲気が醸し出され足取りも軽くなる。出発時に心配された天気も徐々に良くなり、東海道本線を渡り六社神社参拝の後、綾戸の一里塚跡を探し近所の人達に尋ねるが、場所は分からず断念。気を取り直し大垣城七口門の一つを移築した平林荘跡の前を通過後、桜井さんの靴底がはがれるアクシデントがあったが、ほどなく休憩予定地の立源寺に到着し応急措置。今回の行程中には食事する適当な場所がなく、本堂の階段を借りて昼食。午後は九里の一里塚と杭瀬川河畔の塩田の常夜灯を見ながら市内中心部に入り、奥の細道むすびの地記念館で休憩後、船町港跡・住吉燈台案内標の前で記念撮影。その後、美濃路を示す色分けされている歩道をたどり本陣跡に着くが、資料館は生憎休館で疲れはピークに達するも、ほどなくゴールの大垣駅前に到着。金蝶園総本家の銘菓水まんじゅうで疲れを癒し14時40分散。



芭蕉 奥の細道むすびの地記念碑前

美濃路

垂井宿～大垣宿

熱田宿～垂井宿 完歩



垂井の松並木



六社神社



垂井の追分



平林荘



大垣宿本陣跡



立源寺



久里の一里塚



塩田の常夜燈



船町道標



住吉灯台